

五條市の学校(園)教育

学校(園)教育が目指す子ども像

～ふるさとを愛し、自ら学び、

心豊かにたくましく生きる子ども～

基本方針

『社会を生き抜く力を養う学校(園)づくり』のために

令和8年3月、「第2期五條市教育大綱」が策定されました。五條市が目指す教育を『「ふるさとを愛し、自ら考えて行動できる心豊かな人づくり」～「自尊」「他尊」「地尊」の人づくり～』として、自尊感情や、他者や異なる価値観・歴史、文化など多様性を尊重する自他敬愛の精神を育むとともに、自らの地域の歴史や文化に愛着や誇りをもつ人づくりを目指します。その実現に向けた具体的な事業や取組については、「第5期五條市教育振興基本計画」を作成し、本年度の小学校・中学校教育の重点を次のように定めました。学校全体で本重点の共通理解を図り、自校の実態を踏まえ、取り組むことが大切です。

重点目標

- ① 0歳から15歳まで一貫した教育方針による取組
- ② 3つの学園構想に基づいた小中一貫教育の推進・充実
- ③ 社会の変化に即した教育環境の充実と実学重視の高等教育の推進
- ④ 主体的・対話的で深い学びの実現
- ⑤ 「ふるさと学習」の推進



0歳～15歳まで切れ目のない教育で子どもたちの力を育むために

<重点推進項目>

◎就学前の教育

- ・幼児教育と小学校教育を円滑に接続するための「架け橋期」教育の充実
- ・興味・関心を促した知的好奇心や探究心の育成
- ・遊びや運動を通して、健康な体や心など生きる力の基礎を培う教育の推進
- ・他者との関わりを通じた豊かな心の育成
- ・安全で安心できる環境づくり

◎学校での教育

- ・主体的・対話的で深い学びを引き出せる授業の工夫
- ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- ・五條市独自のセレクトタイムの充実
- ・読書活動の活性化を基にした、読解力・想像力・思考力等の育成
- ・効果的なデジタル教育の推進
- ・豊かな感性や社会性をもった子どもの育成
- ・体力・運動能力の向上、運動習慣の改善
- ・切れ目のない教育の推進

◎地域資源を活用した教育

- ・地尊の心を育むために、五條の豊かな自然や歴史、地域人材を生かした学習の充実
- ・「地域学校協働活動」「コミュニティ・スクール」の一体的な推進
- ・持続可能な社会の実現に向け、社会課題への関心を高める教育の推進
- ・地域クラブ指導員も活用した部活動の充実
- ・教育的価値のある伝統的建造物等の活用の推進

教育・保育の更なる充実と地域の活性化を図るために、五條市と五條市教育委員会、五條高等学校、奈良県教育委員会の4者で地域連携の推進に関する協定を結んでいます。

(令和6年2月9日から)

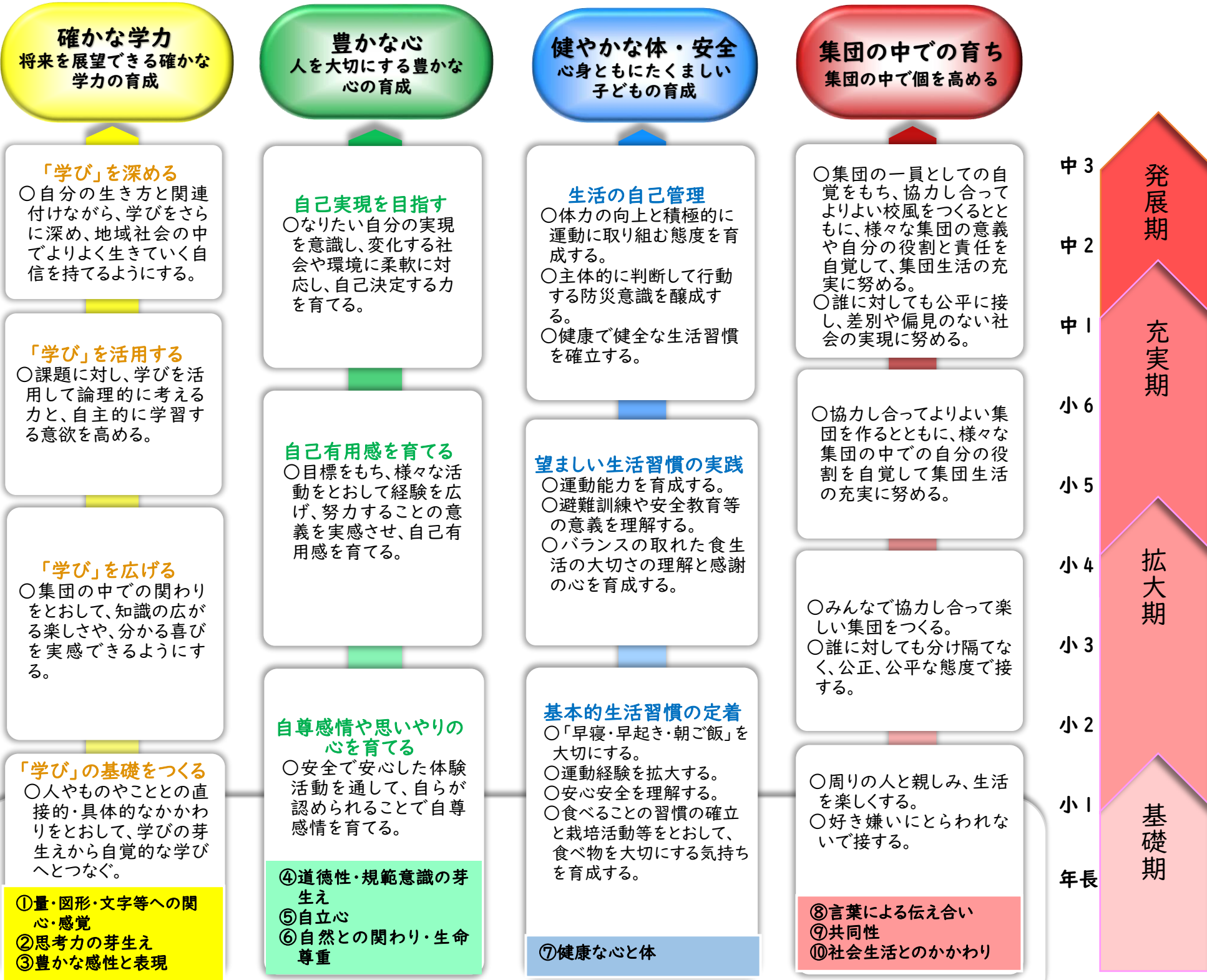
社会を生き抜く力を身に付ける

～15歳の目指す姿を求めて～

学校・園では

子どもたちは、今後「予測困難な時代」と言われる社会を生きていきます。このような社会を前向きに受け止め、豊かな創造性を備え、自発的に生きる力が求められます。ここでは、子どもたちの成長とともに育ってほしい10の力を、こども園、小学校、中学校、家庭とつなぎ、過ごす時期や場所に分けて示しました。私たちは、15歳（中学3年生）の目指す姿を描いて、それに向かって子どもたちと共に歩みましょう。

家庭では



「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の力」

◇自分の学習スタイルを確立し、進路を見すえ主体的に学習を進める。



◇時間を有効に使い、主体的に学習する。
◇将来の夢を話し合う。



◇いつ、何をどのように勉強するのか自分で計画を立てて学習する。



◇自分から進んで学習できるようにする。
◇読書を楽しむ。
◇自分の思いをきちんと話をする。



◇決まった時間に机に向かって学習をする習慣を身に付ける。
◇家庭での役割をつくる。



◇基本的な生活習慣を身に付ける。
◇絵本に親しむ。
◇親子でしっかり会話をする。
◇社会の基本的なルールを学ぶ。
◇充実した遊びや体験に取り組む。

